

オーバルネクストETF情報

2011年3月7日号



TEL 03(5641)5777

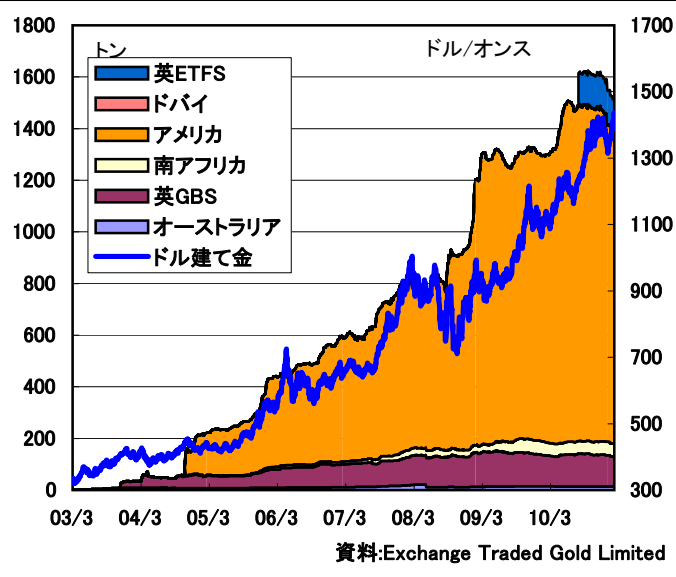
(株) オーバルネクスト
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 7-2

弊社ホームページで本レポートを無料公開中
<http://www.ovalnext.co.jp/>

 **Oval Next Corp.**

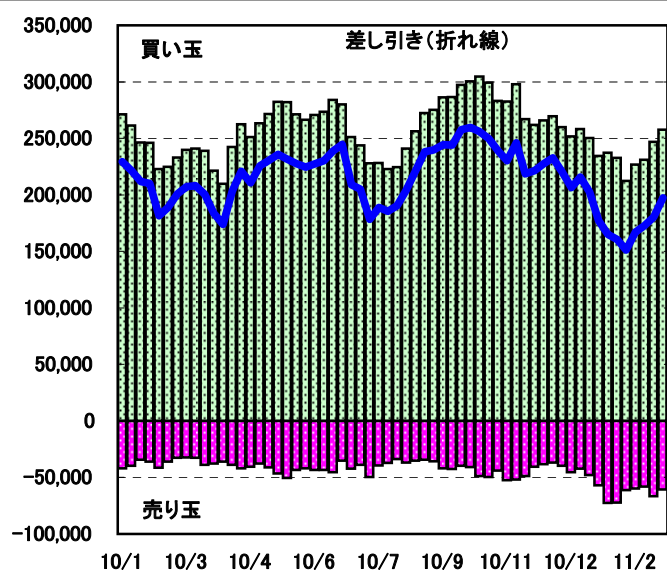
ETF残高減、先物買いは拡大

●金ETFの現物保有高



●大口投機家の取組=CFTC・NY金

単位: 枚



■金はリビア情勢の緊迫化や原油高が支援要因

米商品先物取引委員会(CFTC)の建玉明細報告によると、3月1日時点のニューヨーク金の大口投機家の買い越しは19万7,253枚となり、前週の18万0,424枚から拡大した。今回は新規買いが1万0,787枚、買い戻しが6,042枚入り、買い越しを1万6,829枚拡大した。一方、4日のニューヨークの金ETF(上場投信)の現物保有高は前週末比0.95トン減の1210.62トンとなった。リビア情勢の混乱を背景とした原油高が、金の支援要因になったが、米景気回復期待も強く、戻り場面で売られた。

ドル建て現物相場は、2010年12月7日に1430.09ドルまで上昇した。欧州の債務不安に加え、バーナンキ米連邦準備理事会(FRB)議長が量的緩和を拡大する可能性を示唆したことなどが支援要因になった。プッシュ減税の延長合意をきっかけに国債増発懸念が出て長期金利が上昇すると、調整局面を迎えた。その後は欧州の債務不安の再燃などが下支えになると、ドル安などに支援されて約1カ月ぶりの高値1423.32ドルを付けた。ただ年明け後は米景気回復期待や中国の利上げなどを受けて再び調整局面を迎え、1月28日に昨年10月1日以来の安値1308.12ドルを付けた。2月に入ると、エジプトの政情不安や世界的なインフレ懸念を受けて反発し、3月2日にリビア情勢の緊迫化や原油急騰を受けて史上最高値を更新し、1439.83ドルを付けた。

リビアの混乱が続き、ニューヨーク原油は週末に105ドル台に上昇した。原油高が続くとインフレ懸念が高まり、金の支援要因になるとみられる。ただ欧州中央銀行(ECB)が4月利上げの可能性を示しており、利上げとなれば金が売られる可能性も出てくる。一方、米経済指標では、2月の雇用統計が好調な内容となった。ただ量的緩和の解除には、労働市場のさらなる改善やインフレが必要とみられている。原油高で株安に振れており、今週はリビア情勢の行方と原油価格の動向が焦点になりそうだ。経済指標では、11日に2月の米小売売上高や、2月の中国の主要指標の発表などがある。

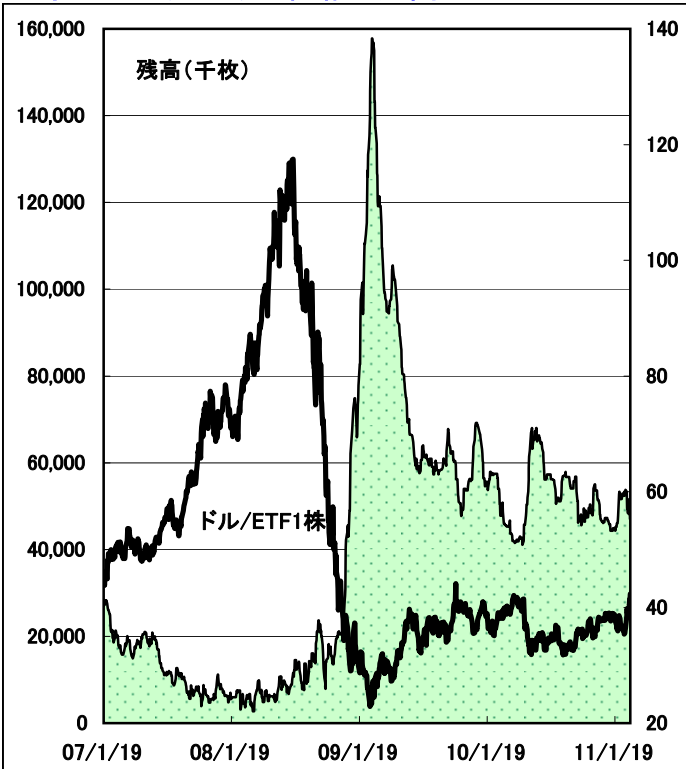
(オーバルネクスト 東海林勇行/3月7日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

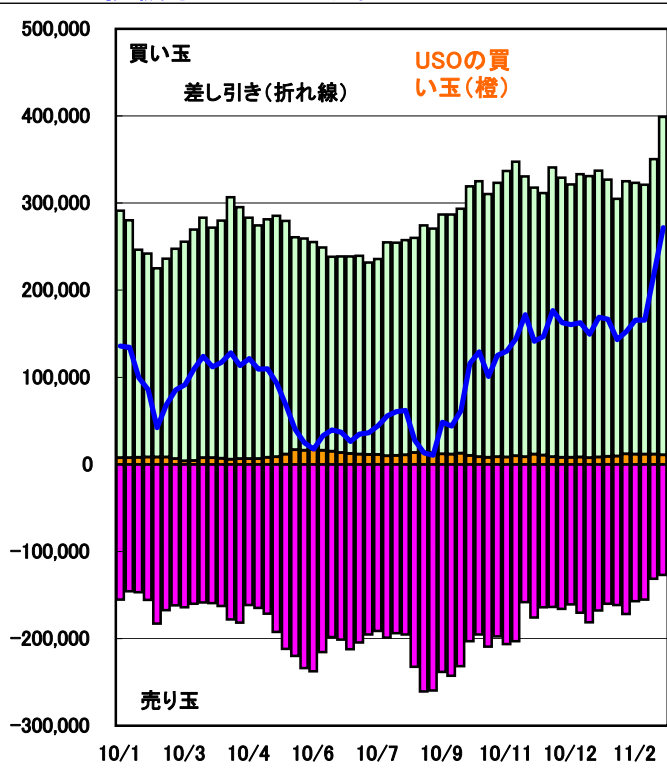
ETF残高減少、NY先物買いは過去最高

●原油ETF(USO)の価格と残高



●大口投機家とUSOの取組

単位:枚



■最近の動向と材料

ニューヨーク証券取引所(NYSE)で取引されている原油ETF(コード:USO)の残高は3月4日時点で4,690万株となり、前週末比160万株減少した。1日に5,160万株まで増加したが、価格上昇で利益確定の売りが出た。ニューヨーク原油はリビア情勢の混乱などを背景に週末に105ドル台に上昇した。USOが先物市場についでいる原油の買い玉は4日時点でニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で8,958枚(前週末比650枚減)、Financial Futureが2,000枚(同変わらず)、インターコンチネンタル取引所(ICE)で8,000枚(同変わらず)となっている。

米商品先物取引委員会(CFTC)建玉明細報告によると、3月1日時点のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)の原油の大口投機家の買い玉は39万9,042枚(前週35万0,580枚)、売り玉は12万7,155枚(同13万1,558枚)で27万1,887枚の買い越しとなり、前週の21万9,022枚の買い越しから5万2,865枚買い越し幅を拡大し、過去最高を更新した。USOの買い玉は大口投機家の2.7%(同3.3%)を占めている。インターコンチネンタル取引所(ICE)のWTI原油の大口投機家の取組は、買い玉が5万5,849枚(同5万5,421枚)、売り玉は2万7,996枚(同2万2,893枚)で2万7,853枚買い越し(同3万2,528枚買い越し)に縮小した。USOの買い玉は大口投機家の14.3%(同14.4%)を占めている。

【原油ETF残高と先物ポジション】

	United States Oil Fund, LP			先物ポジション			
	終値	出来高	残高	NYMEX	Financial Future	ICE	限月
11/2/28	39.19	13,667,934	48,200	9,487	2,000	8,000	11/4
11/3/1	40.48	21,793,646	51,600	10,862	2,000	8,000	11/4
11/3/2	41.39	26,036,371	51,400	10,777	2,000	8,000	11/4
11/3/3	41.18	18,523,084	47,100	9,039	2,000	8,000	11/4
11/3/4	42.33	27,721,398	46,900	8,958	2,000	8,000	11/4

単位:残高は千株

資料:NYSE、USO

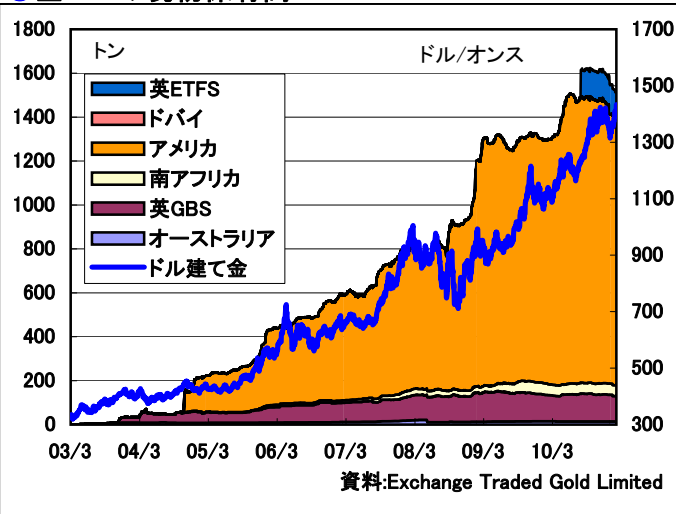
(オーバルネクスト 東海林勇行/3月7日記)

<免責事項>

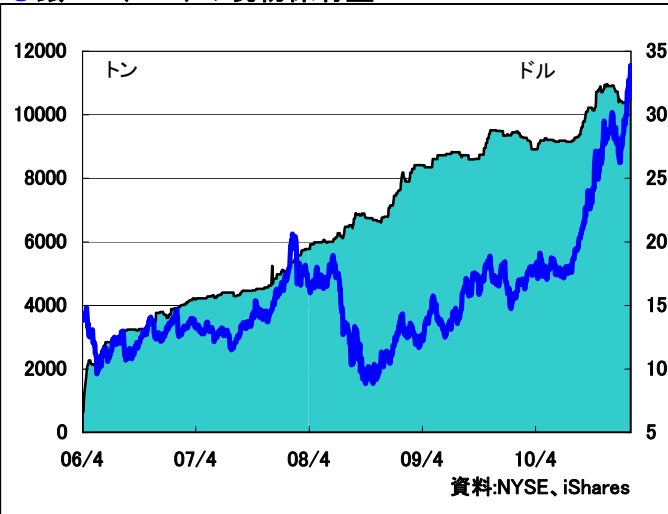
オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

金ETFからの資金流出が続く

●金ETFの現物保有高



●銀ETF(SLV)の現物保有量



■最近の動向と材料

世界13カ国に上場している金ETF(上場投資信託)の現物保有高は、3月2日時点で1513.90トンとなり、前週末比0.06トン減少した。英GBSで0.26トン、英ETFSで0.29トン増加したが、ニューヨークで0.61トン減少した。中東・北アフリカ情勢の緊張や原油高などを受けて史上最高値を更新したが、米景気回復期待も強く、長期投資目的の資金流出が続いている。

ニューヨーク証券取引所(NYSE)の銀ETF(コード:SLV)の現物保有量は前週末比27.33トン増の1万0693.68トンとなった。ETFセキュリティーズの銀ETFの現物保有量はロンドン(コード:PHAG)が同5.46トン増の909.03トン、ニューヨーク(コード:SIVR)が同18.46トン増の523.11トンとなった。原油高で株価が急落する場面も見られたが、工業用需要の増加期待などを背景に投資資金が流入した。

【金ETF現物保有量詳細】

	豪州	英GBS	英ETFS	南ア	米国	ドバイ	合計	金現物相場
11/02/24	14.21	115.63	122.09	49.50	1211.57	0.15	1513.15	1,402.48
11/02/25	14.21	116.25	122.27	49.50	1211.57	0.15	1513.95	1,408.30
11/02/28	14.21	116.52	122.66	49.50	1211.57	0.15	1514.61	1,411.33
11/03/01	14.21	116.51	122.56	49.50	1210.96	0.15	1513.90	1,433.30
11/03/02	14.21	116.51	122.56	49.50	1210.96	0.15	1513.90	1,435.83

単位:トン、現物相場はドル/オンス

注:他の金ETFはIshare TRUST GOLD(2日現物保有は118.53トン)、米ETFセキュリティーズ(2日27.05トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(25日187.09トン)など。

資料: Exchange Traded Gold Limited

【銀ETF(NYSE:コードSLV)】

	銀ETF価格	出来高	現物保有量
11/02/24	31.20	46,040,563	10,575.2
11/02/25	32.56	30,339,134	10,666.4
11/02/28	33.11	37,341,518	10,666.4
11/03/01	33.87	31,439,880	10,693.7
11/03/02	33.84	36,579,574	10,693.7

単位: 価格はドル/ETF、現物保有量はトン

資料: NYSE, iShares

注:他の銀ETFはETFセキュリティーズ(ロンドン 2日909.03トン、NY 2日523.11トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(25日2,403.52トン)。

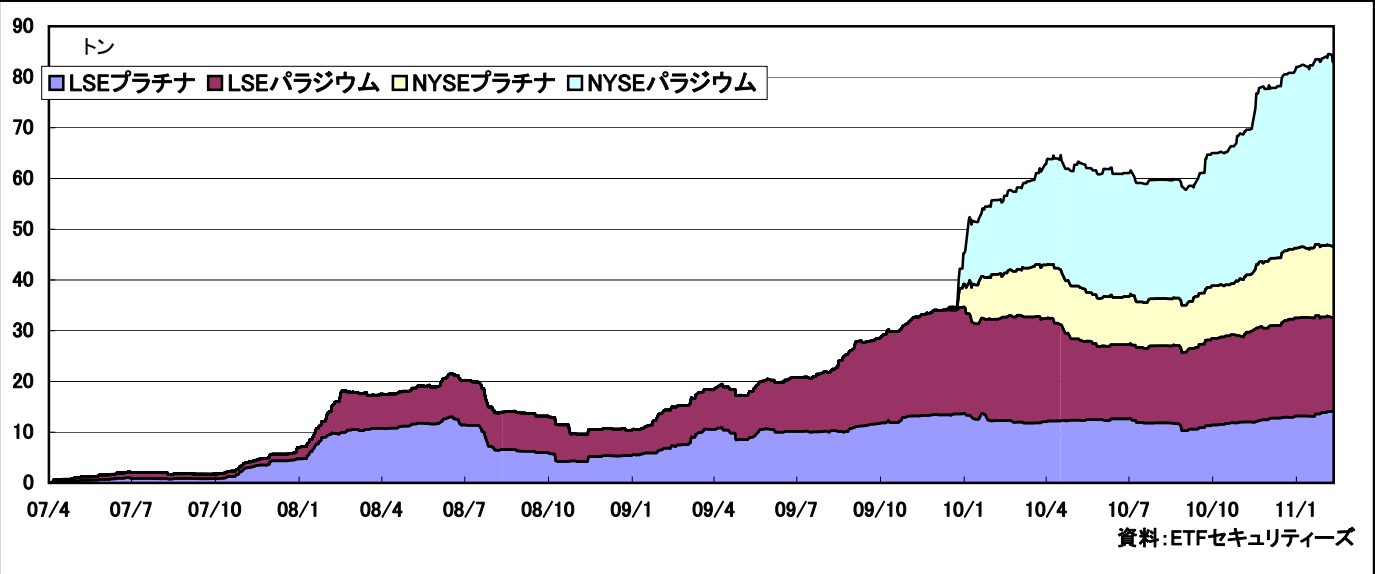
(オーバルネクスト 東海林勇行/3月3日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

パラジウムETFの現物保有高は株価急落などで減少

●PGMのETF現物保有高



■最近の動向と材料

ロンドン証券取引所(LSE)に上場しているプラチナ・パラジウムのETFの現物保有量(メタルセキュリティーズ分)は2日時点でプラチナが14.19トン、パラジウムが18.50トンとなった。23日からプラチナが0.13トン増加、パラジウムは0.36トン減少した。プラチナは調整局面の押し目を買われ、パラジウムは株価急落などで売られる格好となった。

LSEのプラチナは2008年7月に13.01トンまで増加したのち、自動車販売減少や景気後退による需要減少懸念などを背景に売られて減少した。ただ欧米の金融危機対策などを受けて2008年11月下旬の4.19トンを底にして再び買われた。パラジウムは2008年7月の8.84トンをピークに減少したが、2009年1月後半の4.98トンを底にして再び買われて昨年9月以降に急増した。2010年3月に過去最高21.09トンを記録したのちは景気回復の勢いの衰えなどを受けて減少したが、6月の14.39トンを底にして再び買われた。

一方、ニューヨーク証券取引所(NYSE)のプラチナ・パラジウムETFの現物保有高は23日時点でそれぞれ14.05トン、36.29トンとなった。23日からプラチナは0.01トン、パラジウムは0.48トン減少した。

【ETFセキュリティーズ】

	ロンドン証券取引所(LSE)				NY証券取引所(NYSE)	
	プラチナ	パラジウム	銀	金	プラチナ	パラジウム
11/02/24	14.06	18.71	903.57	129.94	14.06	37.70
11/02/25	14.06	18.71	903.57	130.12	14.06	37.70
11/02/28	14.11	18.50	904.39	130.77	14.06	37.70
11/03/01	14.11	18.50	904.39	130.54	14.05	36.29
11/03/02	14.19	18.50	909.03	130.44	14.05	36.29

単位:トン

注:プラチナ・パラジウムETFは他にスイスのチューリッヒ・カントナル・バンクが販売。25日はそれぞれ14.19トン、18.50トン。

資料:ETFセキュリティーズ

(オーバルネクスト 東海林勇行/3月3日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。